



かつてニシンの見張り台であつた岬は、夕陽に映し出された群衆がキラキラと黄金色に輝きながら岸をめぐって押し寄せたことから「黄金岬(おごんみさき)」と呼ばれるようになりまし。

日本海に沈む夕陽は「日本の夕陽百選」に選ばれており、夕方になると、国内有数の撮影ポイントとして、多くのカメラマンや観光客が訪れます。

【観光協会からヒトコト】
黄金岬の安全対策については、定期的に見回り(声かけ)を行うほか、状況を見極めながら、黄金岬の棧橋などを通行止めにする対策を講じていきます。

また、景観に配慮した啓発看板を設置しました。



「広く海を見渡し、千里の彼方まで、願いが届くように」との願いを込めて命名された「千望台」は、海拔180mに位置する丘陵地帯で、留萌港を中心に広がる市街地を一望できる景勝地です。

北の水平線には、天売島・焼尻島の島影、透明度の高い日には利尻島が浮かび、南には暑寒別天売焼尻国定公園の秀峰が望めます。

【観光協会からヒトコト】
ログハウス「サンセット千望台」は軽食と街のインフォメーションの役割を担う休憩施設です。展望台もありますので、気軽にご利用ください。なお、千望台の住所は礼受町ですので、お間違いないようお願いいたします。

NPO法人留萌観光協会 海東事務局長に聞きました

●今年度から市の観光施設などを管理運営することになりましたがいかがですか。

指定管理者制度の導入に伴い、観光協会の経験やネットワークを活用しながら、市民の皆さんや観光客の方々のニーズにあったサービスを提供していきたいと思ひます。

●海のふるさと館のオープンに合わせて、ウオーキング大会が開催されましたがいかがでしたか。



海東 剛哲 事務局長

●これから海水浴シーズンが始まりますがいかがですか。

昨年は、約7万4千人の皆さんにお越しいただきました。大きな事故が起らなかったのは、突堤からの飛び込みの禁止や「タバコのポイ捨て禁止」などルールやマナーを守ってご利用願ひます。

●市が取り組んでいる「留萌の魅力・再発見プロジェクト事業」の一環として、コンシェルジュ事業に取り組んでいるようですがいかがですか。

自分が想像していた以上に留萌が好きなのがたっくさんいました。皆さんと一緒に勉強会などを実施しながら、留萌の良さや魅力を発信していきたいと思ひます。

●今後の抱負をお願いします。

「安心・安全で快適な施設」をモットーに、皆さんの「憩いの場」になれるように努力していきます。9月末までは海のふるさと館を拠点として運営していきますので、気軽にお越しください。

観光協会が運営する『留萌の観光施設』に いってみよう！

ミンナノカンコウシセツ

広報4月号でお知らせしましたが、平成21年度からNPO法人留萌観光協会が「指定管理者」として観光施設などの管理・運営を行うことになりました。
これからは、観光協会のネットワークや手法などを活かしながら、事業を展開していきます。
市民の皆さんの協力のもと“変わる観光施設”をどうぞ、ご利用ください。

▶料金(観光施設など)

区分	単位	料金
売店などを設置する場合	1平方メートル当たり月額	630円

▶料金(海のふるさと館)

区分	単位	料金
会議室	1時間につき	780円
ロビーなど	1平方メートル当たり月額	600円
体験学習室(1F)	日額	1,000円

問 指定管理者 NPO法人留萌観光協会
☎ 43-6817/43-6677(海のふるさと館)
FAX 43-6871
メール rumoikankoukyoukai@gamma.ocn.ne.jp
サンセット千望台 ☎ 42-0569
市・経済港湾課 ☎ 42-1840

観光インフォメーション

▶主な施設の開設期間

- 千望台** 住所:留萌市礼受町
- ◆期間 4月18日(土)~10月25日(日)
 - ◆時間 午前10時~午後6時 (6・7・8月は午後7時まで)
 - ◆定休日 火曜日 (祝日、7月15日(休)~8月24日(月)は無休)
- ※10月は、土・日・祝日のみ営業

海のふるさと館

 住所:留萌市大町2丁目

- ◆期間 4月26日(日)~9月27日(日)
- ◆時間 午前10時~午後5時
- ◆定休日 期間中は無休

海水浴

 ゴールデンビーチるもい

- ◆開設 7月11日(土)~8月23日(日)



約1kmに及ぶ海岸線を有する「ゴールデンビーチるもい」は、水巾着に囲まれた波の静かな人工の海水浴場です。7月上旬にはビーチバレー大会が開催され、シーズン中は、トイイングチューブなどのマリンスポーツが体験できます。

施設内には有料の温水シャワーや車椅子対応式の水洗トイレなどを設置しています。

【観光協会からヒトコト】
今年度の海水浴の期間は、7月11日(土)から8月23日(日)までです。

今年度は、突堤の破損による災害復旧工事のため、利用される皆さんにご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承をお願いします。



平成元年6月にオープンした「海のふるさと館」は、黄金岬の背後の丘の上に位置し、「学ぶ・遊ぶ・憩う」をテーマに、留萌の文化・歴史を道具や映像・レプリカなどによって再現する博物館としてさまざまな取り組みを行ってきました。

今後は、観光と文化を併せた事業やイベントを提供していきます。

【観光協会からヒトコト】
地域活性化・緊急安心実現総合対策事業で整備したイベント用の物品(テントやステージなど)を海のふるさと館で管理・保管し、貸し出しを行っています。

詳細については、観光協会までお問い合わせください。